

平成 29 年 9 月 11 日

受験者の皆様へ

神戸大学大学院工学研究科長
富山明男

博士課程前期課程一般入試における出題ミスについて

平成 29 年 8 月 28 日に実施の平成 30 年度工学研究科博士課程前期課程一般入試におきまして、応用化学専攻の筆答試験「専門科目 (三) : 化学工学」の問題文で次のとおり誤表記があったため、一部の設問で解答が導き出せないという出題ミスが判明しました。

当該問題の受験者については、出題ミスに関連する設問(15点分)は全員正解として採点を行うことにしました。なお、受験者の合否判定において、本処置による不利益は生じていないことを申し添えます。

今後は、さらにチェック体制を強化することにより改善を図り、出題ミスの発生を防ぎます。

受験者ならびに関係の皆様にご迷惑をおかけしましたことについて、お詫び申し上げます。

出題ミスの内容

筆答試験「専門科目 (三) : 化学工学」の問 1 において、証明すべき式 (10) の右辺第 1 項の分母に余分な記号 C_A が記載されていました。

$$(正) \quad (1 - \varepsilon)\tau_{PFR} = \frac{K_m}{\eta V_{max}} \ln \frac{C_{A0}}{C_A} + \frac{1}{\eta V_{max}} (C_{A0} - C_A)$$

$$(誤) \quad (1 - \varepsilon)\tau_{PFR} = \frac{K_m}{\eta V_{max} C_A} \ln \frac{C_{A0}}{C_A} + \frac{1}{\eta V_{max}} (C_{A0} - C_A)$$